

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和5年10月31日



学校だより

11月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1
TEL 045(902)1821

心を一つに 協力し 思い出に残る 運動会

校長 野間 義晴

今年の運動会は晴天のもと、全校児童が一堂に会して開催することができました。保護者や地域の方々をはじめ多くの方々にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

児童代表委員会では、「心を一つに 協力し 思い出に残る 運動会」というすてきな運動会スローガンを決めました。このスローガンは、各クラスにどんな運動会にしたいかアンケートを取り、決定しました。集まった思いには、「楽しく」「仲よく」「協力」「全力」などの言葉が多く寄せられました。全力で取り組み、クラスや学年、赤白の仲間と「協力」することで、「心を一つに」することができ、そうすることで一人ひとりの「心に残る思い出」になると、児童みんなが考え通りの運動会となりました。

当日グラウンドでは、それぞれの学年がまとまった演技と力いっぱい競技や徒競走が展開されました。

6年生にとっては、小学校最後の運動会。それぞれの胸の内に秘めた思いがあったことでしょう。高学年全体での「受け継がれし伝統 元小ソーラン2023」では、一人一人の集中力、そして5・6年全体としての団結力を見せてくれました。5年生は6年生に教わりながらの学習を通して、憧れと伝統をしっかりと受け継いでいました。中学年の「開幕宣言！元小All Flags」では、手旗を巧みに使って息の合った演技を披露しました。3・4年生のリズムにのった演技が印象的でした。低学年では4色の軍手を使った「はばたけ つばめたち」では、それぞれの色の軍手の彩りがきれいで笑顔あふれる演技でした。1年生にとっては、初めての運動会。演技に全力で取り組む1・2年生の姿が印象的でした。



それぞれの学年やクラスで運動会に向けた学習を進めていくなかで、一人一人が全力で、心で団結して盛り上がろうとするからこそ、昨日を超える自分があるはず。昨日を超える瞬間がありました。この成長がやはり学校をつくっているのだと思います。

子どもたちが今回の運動会を通して学んだことをクラスや学年の力として、今後の学校生活や日々の出来事や生活につなげ、生かしていけるよう、今後とも子どもと心を一つにしながら指導してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。